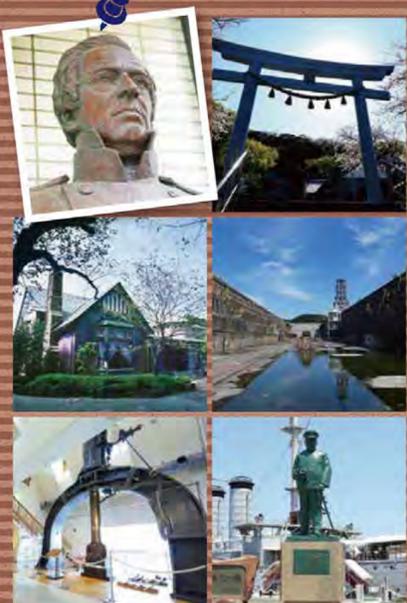


横須賀 歴史マップ

Yokosuka City · Japan's Door to the World
Where you can find history of military port.



横須賀のおもなできごと

1648年	浦賀に燈明堂が建つ
1720年	浦賀港に浦賀奉行を置く
1853年	ペリー-浦賀来航(中島三郎助が黒船乗船)
1854年	日米和親条約締結、下田・函館開港
1860年	咸臨丸、浦賀港を出港
1865年	ヴェルニー、小栗の尽力により横須賀製鉄所建設開始
1868年	明治維新
1869年	観音崎灯台点灯開始
1870年	西浦賀と東浦賀が合併して浦賀村となる
1871年	廃藩置縣の詔書
1873年	ヴェルニー、走水の湧水を利用し、造船所への引水を計画
1876年	横須賀村と浦賀村が町となる
1884年	横須賀鎮守府が設置される
1889年	市制、町村制が施行される、横須賀線開通(横須賀～大船間)
1901年	久里浜海岸でペリー提督上陸記念碑除幕式が行われる
1904年	日露戦争・日本海海戦
1907年	横須賀町、市制を施行 横須賀市の誕生
1908年	市営水道(走水水道)完成、332戸に給水開始
1914年	第1次世界大戦が始まる
1916年	追浜に海軍航空隊が開隊される
1923年	関東大震災で大きな被害を受ける
1929年	世界恐慌が始まる
1930年	湘南電鉄(株)が黄金町～浦賀間運転開始
1933年	衣笠村・田浦町が横須賀市に合併
1937年	久里浜村が横須賀市に合併
1943年	浦賀町、逗子町、大船町、長井町、北下浦村、武山村が横須賀市に合併
1945年	連合国軍が横須賀に上陸
1946年	日本国憲法公布
1950年	横須賀市から逗子市が分離独立
1951年	横須賀港が重要港湾に指定される
2016年	旧軍港都市(横須賀市、呉市、佐世保市、舞鶴市)が日本遺産に認定
2017年	記念艦三笠、鎮守府のラッパが日本遺産の構成文化財に追加認定

ペリー来航期

ペリー記念館 **C4**



ペリー記念館では、ペリー来航に関する歴史の資料や模型などが展示され、当時の絵巻物や瓦版などから、人々の驚きや動揺を知ることができます。記念館は、ペリー来航という歴史的事実や、その意義を将来にわたって伝えていきます。

ペリー公園

ペリー上陸を記念する公園であり、園内の中央に立つ記念碑は明治34年(1901)に米友協会が建立したもので、碑文は伊藤博文によるものです。

横須賀市久里浜 7-14 ☎046-834-7531

浦賀ドック **C4**



浦賀のドックは国内に2基しかないれんが積みだのドックで重要な土木遺産です。浦賀造船所で建造された艦船は、約千隻にのぼり、青函連絡船「護国艦」、日本丸II世・海王丸II世などの船が建造されました。浦賀船渠、浦賀重工業を経て住友重機械工業となり、平成15年(2003)3月に閉鎖され、現在一般の見学はできません。

横須賀市浦賀 4-7

愛宕山公園 **C4**



明治26年(1893)に開園した市内で一番古い公園です。ペリーの浦賀来航の際に交渉にあたった浦賀奉行組と力・中島三郎助の招魂碑を建立した時に、公園として整備されました。昭和35年(1960)には日米修好通商条約の締結100年を記念して咸臨丸出港の碑が建てられています。碑の裏には、艦長の勝海舟をはじめ、福沢諭吉、ジョン万次郎などの乗組員の名が刻まれています。

横須賀市西浦賀 1-23

坂本龍馬の妻「おりょう」の墓(信楽寺) **C3**

坂本龍馬の妻、龍子は寺田屋騒動の際に、龍馬の危機を救ったことで知られています。慶応2年(1866)に龍馬と結婚しますが、翌年に龍馬が暗殺された後は各地を転々とし、明治8年(1875)に再婚。横須賀市上町(当時の豊島村)に住み、後に横須賀米が浜(深田村)に移ったと伝えられています。明治39年(1906)に亡くなり、大津の信楽寺に墓があります。

吉田松陰が宿泊した徳田屋 **C4**



ペリー来航時には黒船を見聞するために吉田松陰や佐久間象山らが同宿した徳田屋。今後の日本のとるべき方向などを語り、議論百出したといわれています。旅館は関東大震災で倒壊し、現在は個人宅になっていますが、徳田屋の果たした役割の大きさを示す碑が建てられています。

横須賀市東浦賀 2-21-25 ☎046-841-5300

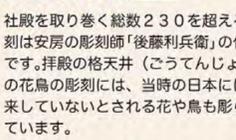
勝海舟が使用した井戸・東叶神社 **C4**



安政7年(1860)、勝海舟一行は咸臨丸で太平洋を横断しました。その際、航海の成功を祈願し東叶神社に詣で、境内にある井戸水をくみ水こりを済ませ、社殿から山道を山頂まで登り、奥の院の片隅で座禅を組み、断食修行を行ったと伝えられています。

横須賀市東浦賀 2-21-25 ☎046-841-5300

西叶神社 **C4**



社殿を取り巻く総数230を超える彫刻は安房の彫刻師「後藤利兵衛」の作品です。拝殿の格天井(こつてんじょう)の花鳥の彫刻には、当時の日本には渡来していないとされる花や鳥も彫られています。

横須賀市西浦賀 1-1-13 ☎046-841-0179

横須賀製鉄所

横須賀製鉄所(米海軍横須賀基地内) **B2**



米海軍横須賀基地内には、横須賀鎮守府庁舎や日本でも最も古いドライックなど歴史の建造物が数多く残されています。現在の在日米海軍司令部庁舎は、大正15年(1926)に横須賀鎮守府庁舎として建造された建物です。鉄骨造りタイル張りの大正建築の傑作とされています。日本最初の1号ドライックはヴェルニーの設計により明治4年(1871)に完成しました。同時期に建設された2号・3号ドックも今も残っています。その他にも第二次世界大戦中に巨大空母「信濃」を建造した6号ドックや「海軍砲術学校」校門銘板「横須賀製鉄所跡」などが残っています。

ヴェルニー公園とヴェルニー記念館(スチームハンマー) **B2**



ヴェルニー公園には、現在は米海軍横須賀基地として利用されている横須賀製鉄所跡地を望むように、ヴェルニーと小栗の胸像が並んでいます。フランス庭園様式の公園は、春と秋に咲くバラや自衛隊、米軍の艦船を間近に見ることができるスポットとして知られています。公園の一角にあるヴェルニー記念館は、横須賀製鉄所を築き上げたヴェルニーの功績と、横須賀製鉄所の意義を永く後世に伝えるために建てられた施設です。中には1865年に製造されたオランダのロケットラムから横須賀製鉄所に輸入されて以後、100年以上にわたって使用されていた3トンと0.5トンのスチームハンマー(蒸気の圧力でハンマーを動かして作業を行う工作機械)が展示されています。日本に近代西欧の技術が輸入され、西欧文明を消化し吸収していく歴史を語る貴重な文化遺産として、いずれも国の重要文化財に指定されています。なお、旧横須賀海軍工廠で建造された戦艦「陸奥」の主砲が、ヴェルニー公園へ里帰りしました。

ヴェルニー公園 ☎横須賀市汐入町 1-1 ☎046-824-6291

ヴェルニー記念館 ☎横須賀市東逸見町 1-1 ☎046-824-1800

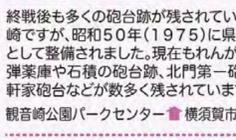
観音崎灯台 **C4**



明治2年(1869)に日本最初の洋式灯台として初点灯しました。現在の灯台は3代目になり東京湾の道しるべとして、広範な海域を見守っています。のぼれる灯台の1つで灯台資料展示室が併設されています。

横須賀市鴨居 4-1187 ☎046-841-0311

観音崎公園 **C4**



終戦後も多くの砲台跡が残されていた観音崎ですが、昭和50年(1975)に興立公園として整備されました。現在もれんが造りの弾薬庫や石積の砲台跡、北門第一砲台、三軒家砲台などが数多く残されています。

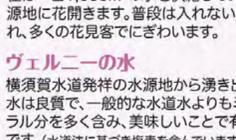
観音崎公園パークセンター ☎横須賀市鴨居 4-1262 ☎046-843-8316

走水水源池 **C4**



横須賀造船所の事業拡張に伴い、その用水を確保するために、ヴェルニーは走水の湧水に目を付け、これを造船所まで引こようと考えました。水源池から造船所までの距離は約7kmですが、測量の結果、高低差はわずか10mほどでした。そこで効率よく水道管を引

ヴェルニーの水



くため途中4か所にトンネルをほり、明治9年(1876)12月に工事は完成しました。走水水源池は関東大震災時にも枯れることなく、現在は一日1,000m³の水を供給しています。春には約115本の桜が水源池に花を開きます。普段は入れない水源池はこの時期に一般開放され、多くの花見客でにぎわいます。

走水神社 **C4**



走水神社は、走水水源池の水源地から湧き出る水は良質で、一般的な水道水よりもミネラル分を多く含み、美味しいことで有名です。(水道法に基づき塩素を含んでいます)

横須賀市走水 2-12-5 ☎046-844-4122

防大ツアー **C4**



走水海岸の臨山の上(小原台)にある、将来の幹部自衛官となるべき者を育成する防衛大学校を見学。学生会館では防大グッズを購入することができます。(参加無料、要予約)

防衛大学校総務課広報ツアー係 ☎http://www.mod.go.jp/nda/

ドブ板通り **B2**



旧日本海軍の軍港として栄えた当時、通りをドブ川が流れていて、その上に厚い板が敷いてあったことから、こう呼ばれていたようです。戦後は横須賀に駐留した米軍の歓楽街として栄えました。

京急汐入～横須賀中央

浦賀の渡船 **C4**



港に隔てられた浦賀の町や東西の叶神社をつなぐ浦賀の渡船は、享保10年(1725)頃から始まる長い歴史を持つ浦賀のシンボルです。また、航路は全国的にも珍しい水上の市道となっています。

横須賀市東浦賀2-19-10 先、西浦賀1-2-19 先 ☎046-841-1509

(株式会社ミウラ総建)

旧横須賀重砲兵連隊営門 **B2**



汐入から坂道を上った坂本町には陸軍の横須賀重砲兵連隊が置かれ「海軍の下町」「陸軍の上町」といわれたそう。汐入町3丁目から坂本町の不入斗中学校まで続く細い坂道は、下町の繁華街に遊びに出た兵隊たちが門限に達しないよう駆け足で上ったことから「ちこく坂」と呼ばれました。明治40年(1907)に竣工した重砲兵連隊の営門が、桜小学校、坂本中学校の門として現在も使用されています。

ちこく坂 ☎横須賀市坂本町

近代

旧横須賀鎮守府長官官舎 **B3**



横須賀鎮守府長官官舎は、大正2年(1913)に建築され、東伏見宮依仁親王以来、終戦までに歴代長官が34代にわたって居住しました。この建物は木造平屋建ての洋風館と二階建ての和風館が接合された住宅で、洋風部分は北方ヨーロッパの建築技法であるハーフティンバー(柱をそのまま見せて、その間の壁をしっかりと埋めたもの)を基本にした、三角屋根が特徴の美しい建物です。通常見学はできませんが、例年春と秋に一般公開されます。

旧海軍下士官兵集会所(EMクラブ) **B3**



現在、横須賀芸術劇場が建つ場所には、旧日本海軍の下士官兵集会所があり明治35年(1902)の設立から終戦までの長い歴史を通して海軍の下士官兵たちの憩いの場所でした。戦後はアメリカ軍に接収され、アメリカ海軍の兵員集会所(EMクラブ)になりました。クラブ内のステージにはレイ・アームストロングをはじめ世界のトップジャズミュージシャンが慰問に訪れ、当時の若き日本のプレーヤーにとっては登壇の機会を得ました。ドブ板通りのモールには、多くのジャズミュージシャンの手形のレリーフが埋め込まれています。

世界三大記念艦「三笠」 **B3**



「三笠」は日露戦争時の連合艦隊旗艦。明治38年(1905)の日本海海戦で東郷平八郎司令長官が座乗しロシアのバルチック艦隊を撃破しました。日本は明治以降に数多くの軍艦を建造しましたが、現存する軍艦は三笠のみです。艦内では旧海軍の軍服や装備、日露戦争関連の展示のほか、東郷平八郎司令長官の公室、参謀長室、艦長室などが見学できます。

横須賀市福岡町 82-19 ☎046-822-5225

貝山緑地 **A2**



貝山頂上からは米海軍基地や環島、遠くは防衛大学校のある小原台や房総の山々を望み、眼下には長浦港へ出立する自衛隊の艦船をみることができ、貝山緑地のついでに、第二次世界大戦中に掘られた地下壕が残されています。立ち入りは禁止されているため見学することはできません。

第三海堡構造物 **A2 B3**



海堡とは兵備を施した人工島のことです。明治25年(1892)に起工された大正10年(1921)に竣工した第三海堡は2年後の関東大震災により崩壊してしまいました。長い間放置されていたが、多数の海難事故の原因となったため平成2年(2000)から撤去作業が実施され、この際引揚げられた構造物の一部がうみかぜ公園と夏島都市緑地内で展示されています。

うみかぜ公園 ☎横須賀市平沢町 3-23 ☎046-826-2899

夏島都市緑地 ☎横須賀市夏島町 2-26

陸軍棧橋 **C4**



太平洋戦争終了後、南方や中国大陸からの引き揚げ者約56万人が、懐かしい日本の地に第一歩を印したところ。浦賀港の引き揚げの歴史を後世に伝えるよう平成18年(2006)10月に記念碑が設置されました。

横須賀市西浦賀 1

馬門山横須賀海軍墓地 **C3**



明治15年(1882)に当時の海軍省が、戦死・殉職した海軍軍人のために馬門山埋葬地として開設。第二次世界大戦終結までの間、横須賀鎮守府が管理運営し、戦後、大蔵省から市に譲渡され、馬門山墓地として一部が市民墓地となつています。毎年5月には墓前祭が行われ、横須賀風物百選にも選ばれています。

2020年浦賀奉行所 開設300周年!!

浦賀は、江戸幕府設立の頃から東京湾でも船が泊まるのに非常に良い港として知られていました。平和が続くと江戸の人口が増えると、食糧や日用品が海から運ばれ、東京湾の入口にある浦賀は中継地として栄えました。

1720年、浦賀奉行所は静岡県の下田から移転して誕生しました。奉行所は現在の市役所や警察署、海上保安庁など多くの仕事を担いました。

浦賀奉行所の誕生

●江戸に入る船の荷物や人のチェック
●東京湾に向かってくる外国船からの警備
●幕府の指揮による外国船の応接

1853年のペリー来航は、日本近代化への一歩として有名ですが、浦賀奉行所には、1818年のイギリスの来航以来、7度目の異国船の来航

した。この時、中島三郎助や香山栄左衛門など浦賀奉行所の役人たちが活躍し、交渉の結果、アメリカ大統領の親書を久里浜で受け取るようになりました。

横須賀観光情報サイト「ここはヨコスカ」
横須賀の観光スポット、イベント情報を紹介するホームページ。

ここヨコスカ 検索
https://www.cocoyoko.net/

facebook
https://www.facebook.com/cocoyoko.net/

スマホからも手軽にチェック!

発行: 横須賀集客促進実行委員会(横須賀市 横須賀商工会議所 京急電鉄) 令和2年7月発行 注意: 価格等掲載内容は令和2年7月現在の情報です。 事務局: 横須賀市文化スポーツ観光部観光課 ☎046-822-8124

横須賀近代化ゆかりの人物

フランソワ・レオンス・ヴェルニー
江戸幕府は諸外国から①開港場の整備②洋式灯台の整備③艦船修理施設の整備を求められており、ヴェルニーはその中の二つ、横須賀製鉄所の整備と観音崎灯台など洋式灯台の建設に携わり、近代横須賀の礎を築きました。

小栗上野介
日米修好通商条約の批准のため、アメリカ海軍艦船「ハタン号」で渡米しました。アメリカで造船所を見学した際に、日本との製鉄技術の差に驚愕し、記念に「ねじ」を持ち帰った話は有名です。帰国後は横須賀製鉄所の建設に尽力しました。

栗本勤雲
箱館奉行組頭を経て横須賀製鉄所の御用掛となり小栗上野介とともに横須賀製鉄所の建設に尽力しました。後に外国奉行となり日仏親善の橋渡しとなりました。

マシュー・カルブレイス・ペリー
アメリカ大統領の日本開国を求める親書を持って、1853年7月8日、浦賀沖に4隻の黒船が来航しました。翌年には「日米和親条約」を締結しました。

東郷平八郎
連合艦隊の司令長官。日露戦争では三笠に乗り、ロシアのバルチック艦隊を破りました。

前島密
「郵便の父」として知られる前島密。浦賀沖にペリーが来航した際も江戸幕府の接見役・井戸石見守の下僕になり、黒船を目の当たりにしています。このときの体験から日本の近代化の必要性を感じ、勉学に励んだといわれています。

横須賀市本町2-1-12 コースカベサイドストアーズ1F ☎046-825-7144 (株式会社トリアングル)

11:00-12:00-13:00-14:00-15:00 出航 ※臨時便設定日あり、要確認

①なし(気象・海象等により欠航の場合あり)

②大人1,600円 小人800円

③有料

